

## 筆者紹介：

これは星 功氏が 43 年間にわたるアメリカ在住の実際体験記で、小樽ジャーナルだけに寄稿したものである。星氏は小樽で中高大を経て 1965 年米国に留学、1969 年北カロライナ・ウェスリアン大学を卒業（専攻：数学）、ヴァージニア州で一年間教員を務めた後、1970 年米国 CSC 社に入社、15 年間 NASA に出向勤務した。ワシントン郊外にある NASA のゴダード・スペース・フライト・センターでは NASA が打ち上げる人工衛星の軌道決定をリアル・タイムで処理する責任者の役を務めた。1985 年、ニュージャージー州にある米国航空管制システム開発本部に部長として出向転勤、2008 年 12 月 31 日、希望定年退職まで同社に勤務後、小樽へ永久帰国した。定年時の地位はシステム・経営監査役。1984 年、NASA での任務が国家機密 (Secret Clearance) 資格が必要となったので、必要条件であったアメリカ市民権を獲得、これを契機に多くの公職に貢献した。ニュージャージー州在住中は地域の家庭学校協会副会長、アトランティック郡立大学講師、州法廷裁判陪審員 3 回、州法廷通訳、アトランティック・シティ チェルシー地区町内会幹部員、アトランティック・シティ教育委員公選出馬、等の略歴の持ち主。現地最大のアトランティック・シティ・プレス（新聞）にしばしば投稿し、又ラジオ・テレビ・トーク・ショーにも随時参加するなど、地域のご意見番として活躍した。在米中は『小樽ジャーナル』のファンで、これから得られる情報は将来の定年地：小樽市の現状把握に役立った。又『小樽ジャーナル』には在米中から数回投稿してる。

アメリカを語る文献は多い。しかし、筆者のようにアメリカに数十年在住し、アメリカの世俗社会に浸ってアメリカを知り尽くし、アメリカを語った文献は数少ない。



ワシントン、D.C. の筆者（2009 年 1 月）